……立ち話……

フラメンコダンサー 石川敦子が帰国公演

「思いたったらすぐ実行するタチ」がもとで、フラメンコダンサーになったのが石川敦子＝写真。六月の福岡と長崎での初の帰国公演で、一流アーティストの振り付けも多く手掛けるホアキン・ルイスらと舞台に立つ。

石川は福岡市出身。短大卒業後、米国の大学に留学したが、中学時代に魅了されたフラメンコが忘れられず、一夜で荷物をまとめ、残りの授業料や滞在費の二百万円を持って単身スペインへ。

三年間、フラメンコとクラシックバレエを修業。その後、ロンドンのレストランの舞台で踊っていたところをスカウトされ、一九九二年、ホセ・カレーラスが出演したオペラ「カルメン」の欧州ツアーにダンサーとして参加。九五年にはクリスティーナ・オヨス主催のコンテストで第三位に。

「日本ではフラメンコがブームのようですが、私にとっては人生を感じさせる土くさい芸術。舞台を見て、体と魂がひとりでに動き出すような感触を味わってほしい」と話している。

長崎公演は六月三日、長崎市民会館文化ホールで。S七千円、A六千円。福岡公演は六月四日、メルパルクホール福岡で。S八千円、A七千円。問い合わせはサーチアンドキー（〇九二―七一六―九五一五）。